

I. 住民基本台帳に基づく人口及び人口動態の概要

1. 住民基本台帳に基づく人口

(1) 概要

人口は1,394,017人、11,454人の増加
住民基本台帳に基づく平成21年9月末現在の福岡市の人口は1,394,017人で、前年（平成20年9月末現在）に比べ11,454人増加し、増加率は0.8%となっています。

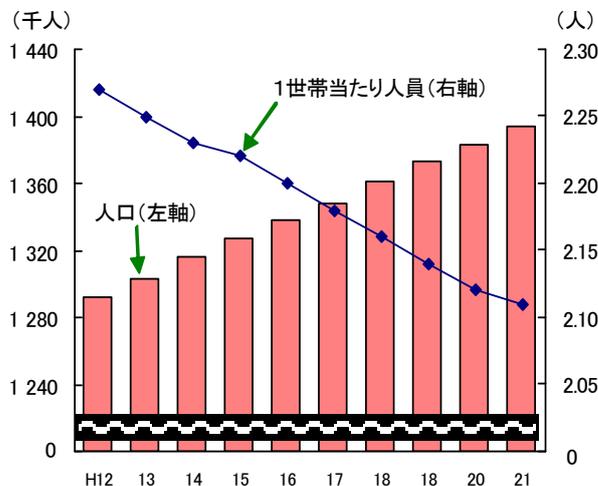
世帯数は662,040世帯で、前年に比べ9,758世帯の増加、増加率は1.5%で、人口の増加率を上回っています。

性別に見ると、男性は662,176人で、前年比5,378人（増加率0.8%）の増加、女性は731,841人で、前年比6,076人（同0.8%）の増加となっています。女性を100としたときの男性の割合を示す「性比」は、年々下降を続けていましたが、今回は前年と同じ90.5となっています。

1世帯当たり人員は2.11人で、前年比0.01人の減少となりました。

人口、世帯数ともに、毎年増加を続けていますが、人口の伸びを世帯数の伸びが上回っているため、1世帯当たり人員は、減少が続いています。

図1 人口及び1世帯当たり人員の推移



(2) 行政区別人口

博多区が世帯数、人口とも大きく増加

行政区別に見ると、7区の中で東区が人口、世帯数ともに最も多く、人口は275,663人、世帯数は125,028世帯となっています。

人口、世帯数ともに最も少ないのは城南区で、人口121,125人、世帯数56,102世帯となっています。

平成20年に比べ、世帯数はすべての区で増加していますが、人口は6区で増加し、城南区はわずかに減少してい

表1 世帯数及び人口等の推移

年	世帯数		人口		男	女	性比	1世帯当たり人員
	世帯	前年増加率	人	前年増加率				
平成12年	569 340	1.6	1 291 542	0.7	619 940	671 602	92.3	2.27
13年	579 166	1.7	1 303 253	0.9	624 601	678 652	92.0	2.25
14年	589 349	1.8	1 316 222	1.0	630 069	686 153	91.8	2.23
15年	598 954	1.6	1 327 099	0.8	634 863	692 236	91.7	2.22
16年	608 510	1.6	1 337 576	0.8	639 168	698 408	91.5	2.20
17年	618 034	1.6	1 347 823	0.8	642 842	704 981	91.2	2.18
18年	630 866	2.1	1 361 060	1.0	648 387	712 673	91.0	2.16
19年	642 514	1.8	1 372 840	0.9	652 935	719 905	90.7	2.14
20年	652 282	1.5	1 382 563	0.7	656 798	725 765	90.5	2.12
平成21年	662 040	1.5	1 394 017	0.8	662 176	731 841	90.5	2.11

(各年9月末現在)

ます。

人口の増加が最も大きいのは博多区で、3,930人増加、ついで東区が2,935人増加となっており、この2つの区で福岡市全体の増加分の60%を占めています。

1世帯当たり人員を見ると、最も多いのは西区の2.39人で、以下、早良区(2.30人)、東区(2.20人)と続き、都心部に位置する中央区(1.77人)と博多区(1.81人)は、福岡市全体(2.11人)を下回っています。

人口密度は、中央区が10,745人/㎢と最も高く、早良区が2,185人/㎢と最も低くなっています。

(3) 年齢別人口

年少人口の構成比は変わらず

老年人口は増加

福岡市の平均年齢は男性が40.1歳、女性が42.9歳、全体としては41.6歳となり、前年に比べ0.3歳上昇しました。

年齢別の構成比を見ると、15歳未満の「年少人口」の構成比は14.0%で、4年連続同じ割合となっています。

しかし15～64歳の「生産年齢人口」は68.8%で、前年に比べ0.4ポイント減少し、また65歳以上の「老年人口」は17.2%と、前年に比べ0.4ポイント増加しており、引き続き高齢化が進んでいます。

行政区別に見ると、年少人口の割合が高いのは西区、早良区及び東区、老年人口の割合が高いのは城南区、南区及び西区となっています。

都心部である博多区と中央区では、生産年齢人口の割合が高く、年少人口と老年人口の割合が低くなっています。

図2 行政区別世帯数と人口

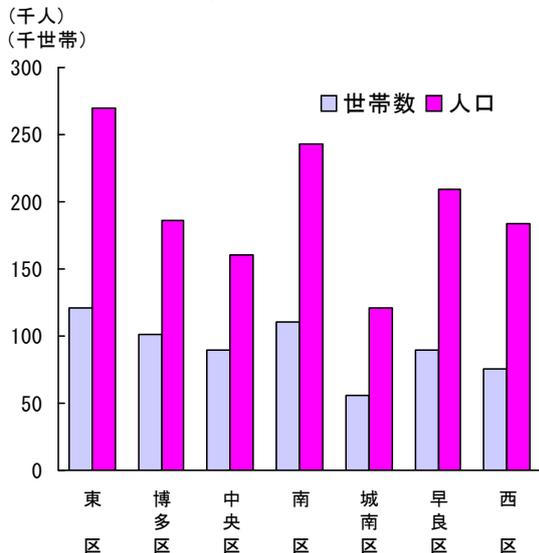


表2 行政区別世帯数及び人口

(各年9月末現在)

市・区	平成20年		平成21年										
	世帯数	人口	世帯数	増加率	人口	増加率	構成比	男	女	性比	1世帯当たり人員	面積	人口密度
	世帯	人	世帯	%	人	%	%	人	人		人	㎢	人/㎢
福岡市	652 282	1 382 563	662 040	1.5	1 394 017	0.8	100.0	662 176	731 841	90.5	2.11	341.32	4 084
東区	122 998	272 728	125 028	1.7	275 663	1.1	19.8	134 090	141 573	94.7	2.20	67.98	4 055
博多区	104 015	190 031	107 365	3.2	193 961	2.1	13.9	94 460	99 501	94.9	1.81	31.47	6 163
中央区	91 420	162 067	92 121	0.8	162 892	0.5	11.7	71 841	91 051	78.9	1.77	15.16	10 745
南区	110 905	242 327	111 976	1.0	243 213	0.4	17.4	114 630	128 583	89.1	2.17	30.98	7 851
城南区	56 045	121 213	56 102	0.1	121 125	△0.1	8.7	57 794	63 331	91.3	2.16	16.02	7 561
早良区	90 345	209 179	91 032	0.8	209 505	0.2	15.0	99 618	109 887	90.7	2.30	95.88	2 185
西区	76 554	185 018	78 416	2.4	187 658	1.4	13.5	89 743	97 915	91.7	2.39	83.83	2 239

注) 面積は平成21年10月1日現在

表3 年齢階級別人口及び平均年齢

(平成21年9月末現在)

年 齢 (5歳階級)	福岡市			東 区	博多区	中央区	南 区	城南区	早良区	西 区
	総 数	男	女							
総 数	1 394 017	662 176	731 841	275 663	193 961	162 892	243 213	121 125	209 505	187 658
0～4歳	66 391	34 045	32 346	14 125	9 023	6 506	11 171	5 429	10 226	9 911
5～9	64 629	33 220	31 409	13 538	7 569	5 905	11 303	5 556	10 559	10 199
10～14	64 267	32 803	31 464	13 405	6 883	5 821	11 605	5 647	11 023	9 883
15～19	65 017	32 690	32 327	13 609	7 520	5 921	11 554	6 092	10 923	9 398
20～24	90 555	43 616	46 939	17 804	15 906	11 565	14 776	8 407	11 995	10 102
25～29	108 586	51 834	56 752	20 001	19 938	16 780	17 605	8 521	14 171	11 570
30～34	116 610	56 566	60 044	22 348	18 779	16 290	19 595	9 375	15 826	14 397
35～39	120 040	58 900	61 140	23 586	17 827	15 153	20 728	9 884	16 650	16 212
40～44	100 723	49 234	51 489	19 415	13 592	12 863	17 630	8 315	15 097	13 811
45～49	87 256	42 618	44 638	16 940	11 077	10 625	15 600	7 398	13 726	11 890
50～54	84 007	40 997	43 010	16 559	10 728	9 473	14 999	7 445	13 632	11 171
55～59	94 910	45 999	48 911	19 020	12 303	10 238	16 731	8 723	15 151	12 744
60～64	90 918	43 373	47 545	18 004	11 999	9 973	16 066	8 211	14 205	12 460
65～69	72 311	32 636	39 675	14 516	9 284	7 512	12 973	6 535	11 073	10 418
70～74	57 901	24 859	33 042	11 296	7 481	6 176	10 541	5 438	8 785	8 184
75～79	47 572	19 353	28 219	9 249	6 091	5 133	8 936	4 446	7 119	6 598
80～84	33 546	12 099	21 447	6 538	4 288	3 810	6 129	3 092	5 094	4 595
85～89	18 346	5 196	13 150	3 667	2 377	2 023	3 339	1 669	2 689	2 582
90～94	7 639	1 694	5 945	1 484	952	816	1 404	701	1 151	1 131
95～99	2 378	389	1 989	476	291	270	453	196	354	338
100歳以上	415	55	360	83	53	39	75	45	56	64
平均年齢	41.6	40.1	42.9	41.3	40.9	41.5	42.1	42.2	41.7	41.6
(区…男)				39.8	39.5	40.1	40.4	40.4	40.2	40.1
(区…女)				42.7	42.2	42.6	43.6	43.7	43.0	43.0

表4 年齢別(3区分)人口

(各年9月末現在)

年 齢 区 分	平成20年	平 成 21 年							
	福岡市	福岡市	東 区	博多区	中央区	南 区	城南区	早良区	西 区
年 少 人 口 (15歳未満)	193 725	195 287	41 068	23 475	18 232	34 079	16 632	31 808	29 993
構成比(%)	14.0	14.0	14.9	12.1	11.2	14.0	13.7	15.2	16.0
生 産 年 齢 人 口 (15～64歳)	957 148	958 622	187 286	139 669	118 881	165 284	82 371	141 376	123 755
構成比(%)	69.2	68.8	67.9	72.0	73.0	68.0	68.0	67.5	65.9
老 年 人 口 (65歳以上)	231 690	240 108	47 309	30 817	25 779	43 850	22 122	36 321	33 910
構成比(%)	16.8	17.2	17.2	15.9	15.8	18.0	18.3	17.3	18.1

年齢構成指数を見ると、「年少人口指数（生産年齢人口100に対する年少人口の比率）」は20.4、「老年人口指数（生産年齢人口100に対する老年人口の比率）」は25.0となっています。この二つを合わせた、生産年齢人口の扶養負担程度を示す「従属人口指数」は45.4で、前年に比べ1.0ポイント上昇しています。また、生産年齢人口の影響を受けないため、高齢化を敏感に示す「老年化指数（年少人口に対する老年人口の割合）」は123.0で、前年より3.4ポイント上昇しています。平成2年の48.0と比べると、年少人口の半分以下だった老年人口が、平成21年には年少人口の1.2

倍を超えるということになり、福岡市においても年々高齢化が進んでいることを示しています。

「人口ピラミッド」（5歳階級）を見ると、第1次ベビーブーム世代（1947～49年生まれ）を含む50歳代後半から60歳代前半と、第2次ベビーブーム世代（1971～74年生まれ）を含む30歳代の人口が多いことがわかります。行政区別に見ても、おおむね同じ傾向がありますが、年齢区分構成が異なっている中央区と西区を比べると、ピラミッドの形も異なっているのがわかります。

《人口の年齢構成の特徴を表す指数》

年少人口指数

$$= \frac{\text{年少人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

老年人口指数

$$= \frac{\text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

従属人口指数

$$= \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

老年化指数

$$= \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

図3 年齢別（3区分）人口（構成比）
（平成21年9月末現在）

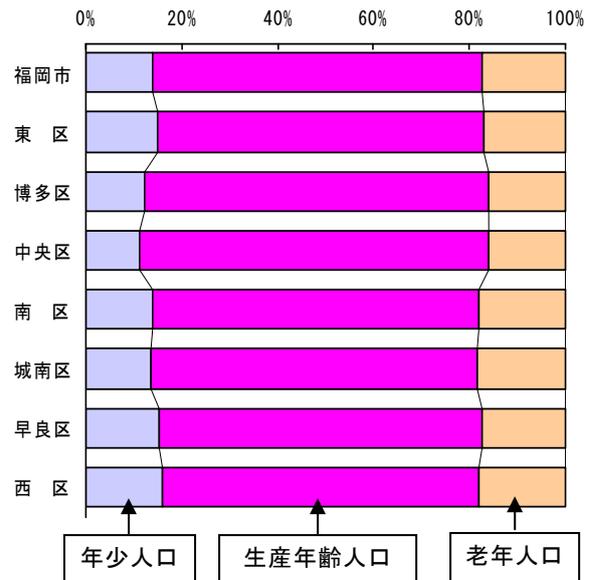


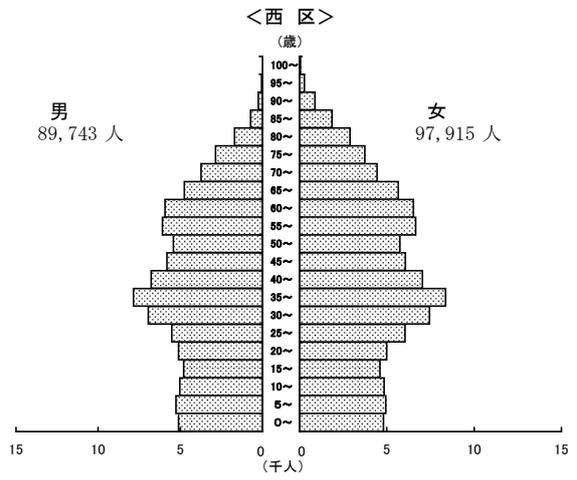
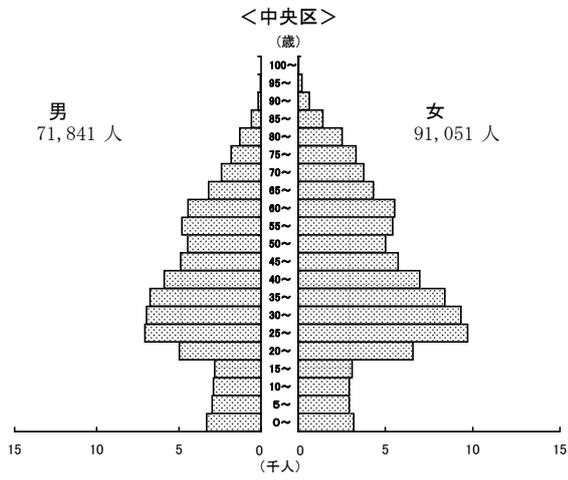
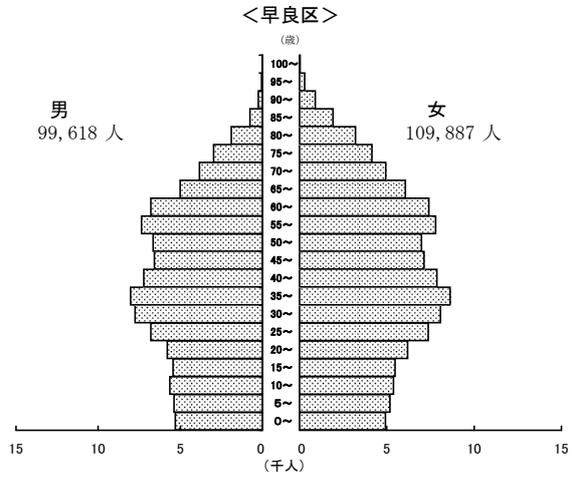
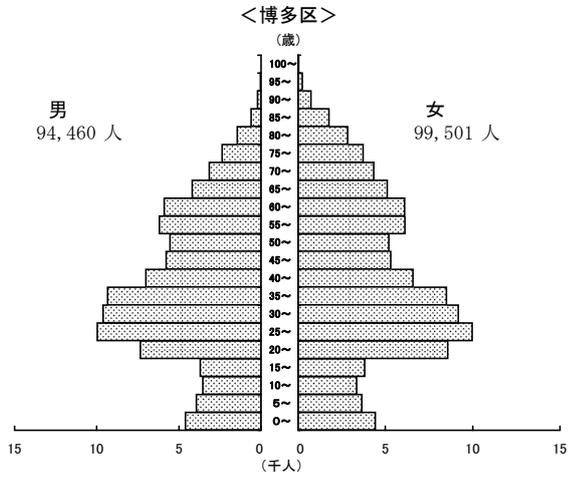
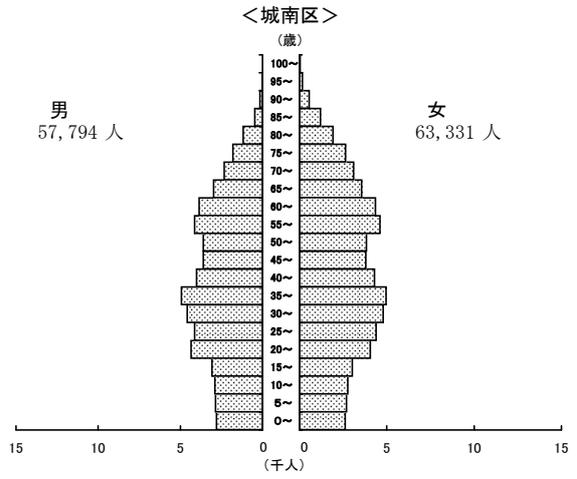
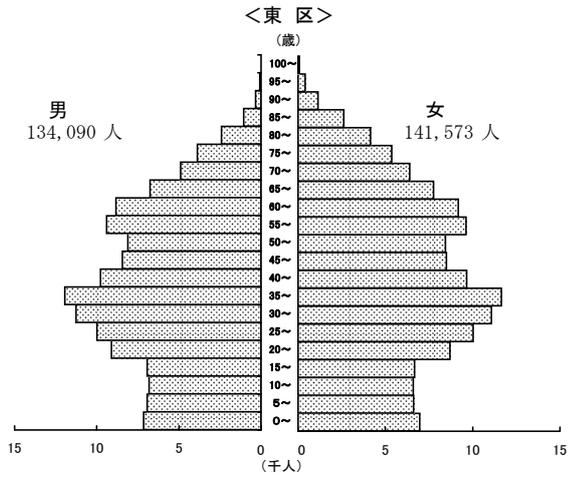
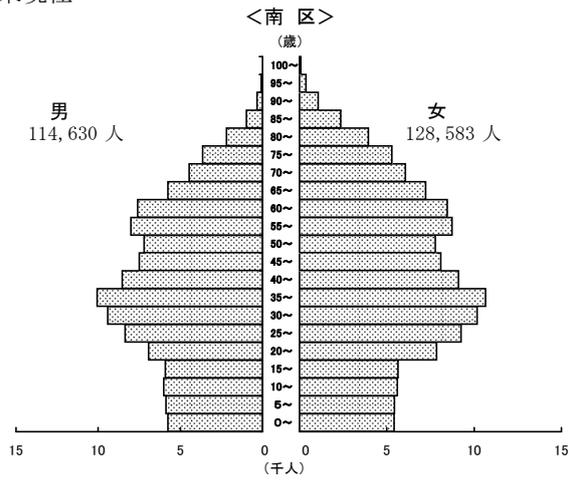
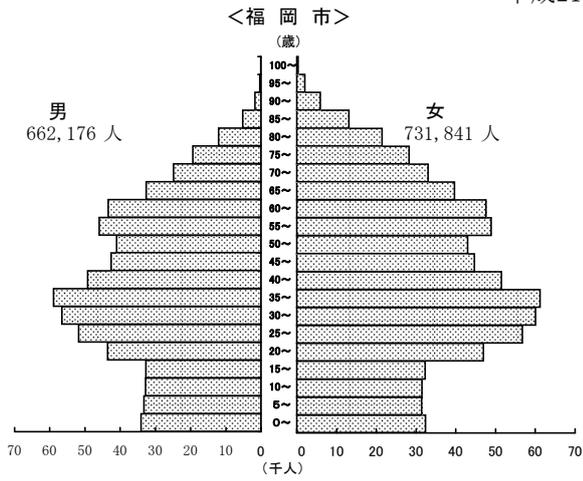
表5 平均年齢, 年齢（3区分）構成比, 及び年齢構成指数の推移

(各年9月末現在)

年	平均年齢 (歳)	構成比(%)			年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化 指数
		年少人口	生産年齢人口	老年人口				
平成2年	35.3	19.2	71.5	9.2	26.9	12.9	39.8	48.0
7年	37.2	16.5	72.3	11.2	22.9	15.6	38.4	68.0
12年	38.8	14.8	71.8	13.4	20.6	18.7	39.2	90.7
17年	40.4	14.1	70.5	15.4	19.9	21.8	41.8	109.6
19年	41.0	14.0	69.6	16.4	20.1	23.5	43.6	117.0
20年	41.3	14.0	69.2	16.8	20.2	24.2	44.4	119.6
21年	41.6	14.0	68.8	17.2	20.4	25.0	45.4	123.0

図4 人口ピラミッド（5歳階級）

平成21年9月末現在



(4) 小学校区別人口

人口増加数最多は照葉校区

小学校通学区域別に見ると、人口が最も多いのは、平尾校区(中央区)の20,617人で、以下、那珂校区(博多区)19,620人、博多校区(博多区)18,156人と続きます。

人口が最も少ないのは、曲淵校区(早良区)の196人で、次いで小呂校区(西区)210人、勝馬校区(東区)293人となっています。

人口増加数が最も多い校区は、開発の進む照葉校区(東区、772人増)です。人口増加率も32.0%と非常に高くなっています。

性比を見ると、男性の比率が最も高いのは、筥松校区(東区)の111.0で、次

いで松島校区(東区)の108.8となっています。一方、女性の比率が最も高いのは、警固校区(中央区)の70.1で、上位5校区を中央区が占めています。

老年化指数は、志賀島校区(東区)が501.6で最も高く、次いで曲淵校区(早良区)の476.5、大名校区(中央区)の394.3となっており、市域の周縁部と都心部の校区が高くなっています。

年齢3区分別人口割合を見ると、年少人口割合が最も高いのは照葉校区(東区)の34.1%、老年人口割合が最も高いのは、曲淵校区(早良区)の41.3%となっています。生産年齢人口割合が最も高いのは、東住吉校区(博多区)の80.9%で、上位を占めているのは都心部に位置する校区です。

表6 校区別人口各種比較(上位5校区)

(平成21年9月末現在)

【人口総数】				【人口増加数】				【人口増加率】			
校区 (行政区)	人口	男	女	校区 (行政区)	人口	増加数	増加率	校区 (行政区)	人口	増加数	増加率
	人	人	人		人	人	%		人	人	%
平尾(中央)	20 617	8 759	11 858	照葉(東)	3 184	772	32.0	照葉(東)	3 184	772	32.0
那珂(博多)	19 620	9 874	9 746	馬出(東)	9 173	734	8.7	馬出(東)	9 173	734	8.7
博多(博多)	18 156	8 516	9 640	吉塚(博多)	10 066	722	7.7	吉塚(博多)	10 066	722	7.7
香住丘(東)	16 552	8 242	8 310	博多(博多)	18 156	589	3.4	元岡(西)	10 983	464	4.4
松島(東)	16 548	8 622	7 926	松島(東)	16 548	514	3.2	金武(西)	4 858	199	4.3

【性比－男性が多い】				【性比－女性が多い】				【老年化指数】			
校区 (行政区)	男	女	性比	校区 (行政区)	男	女	性比	校区 (行政区)	老年人口	年少人口	老年化指数
	人	人			人	人			人	人	
筥松(東)	6 547	5 899	111.0	警固(中央)	6 438	9 184	70.1	志賀島(東)	612	122	501.6
松島(東)	8 622	7 926	108.8	平尾(中央)	8 759	11 858	73.9	曲淵(早良)	81	17	476.5
片江(城南)	6 034	5 762	104.7	高宮(中央)	4 665	6 313	73.9	大名(中央)	903	229	394.3
香椎下原(東)	6 619	6 392	103.6	赤坂(中央)	4 457	6 016	74.1	今津(西)	1 046	284	368.3
東光(博多)	3 763	3 651	103.1	福浜(中央)	2 455	3 221	76.2	千代(博多)	2 102	597	352.1

【年少人口割合】				【生産年齢人口割合】				【老年人口割合】			
校区 (行政区)	人口	年少人口	年少人口割合	校区 (行政区)	人口	生産年齢人口	生産年齢人口割合	校区 (行政区)	人口	老年人口	老年人口割合
	人	人	%		人	人	%		人	人	%
照葉(東)	3 184	1 085	34.1	東住吉(博多)	7 540	6 103	80.9	曲淵(早良)	196	81	41.3
金武(西)	4 858	1 074	22.1	高宮(中央)	10 978	8 683	79.1	能古(西)	784	276	35.2
三苫(東)	8 895	1 800	20.2	堅粕(博多)	9 098	7 136	78.4	志賀島(東)	1 790	612	34.2
下山門(西)	9 287	1 857	20.0	春吉(中央)	11 044	8 650	78.3	城浜(東)	4 028	1 369	34.0
原北(早良)	7 626	1 505	19.7	簗子(中央)	8 010	6 264	78.2	今津(西)	3 137	1 046	33.3

2. 人口動態（平成21年1～12月）

(1) 自然動態

出生数の伸びが続き、死亡数は減少

平成21年（1～12月）の自然動態（出生と死亡の数）は、出生数14,207人、出生率（人口1,000人当たりの出生数）10.19‰（パーミル）、死亡数9,341人、死亡率（同死亡数）6.70‰で、自然増加数は両者の差4,866人、自然増加率（同自然増加数）は3.49‰となっています。

表7 自然動態の推移

年	自然増加数 人	出生数 人	死亡数 人	自然増加率 ‰
平成12年	5 186	13 158	7 972	4.02
13年	5 366	13 243	7 877	4.12
14年	4 959	13 135	8 176	3.77
15年	4 706	13 024	8 318	3.55
16年	4 468	12 978	8 510	3.34
17年	3 780	12 542	8 762	2.80
18年	4 340	13 255	8 915	3.19
19年	4 817	13 921	9 104	3.51
20年	4 323	13 977	9 654	3.13
平成21年	4 866	14 207	9 341	3.49

平成20年（1～12月）と比較すると、出生数は昨年より230人増加し（前年比1.6%増）、4年連続で増加しています。

また、平成14年以降増加を続けていた死亡数が313人減少（同3.2%減）となった結果、自然増加数は平成20年の4,323人から543人増加しました。

行政区別に見ると、東区が出生数2,892人、死亡数1,908人、自然増加数984人で、昨年より自然増加数は115人減少したものの、なお、全区で最も多くなっています。

また、東区、城南区以外の5区で、昨年より出生数が増加し、死亡数が減少したことから、自然増加率が上昇しています。

ただ、平成21年の死亡数は減少しましたが、福岡市でも高齢化が進んでいることから、今後は再度死亡数の増加が予想され、出生数の動向が自然動態を左右すると考えられます。

表8 自然動態

市・区	平成20年			平成21年					
	自然増加数 人, ‰	出生数 人, ‰	死亡数 人, ‰	自然増加数 人, ‰	増加率 %	出生数 人, ‰	増加率 %	死亡数 人, ‰	増加率 %
福岡市	4 323 (3.13)	13 977 (10.11)	9 654 (6.98)	4 866 (3.49)	12.6	14 207 (10.19)	1.6	9 341 (6.70)	△ 3.2
東区	1 099 (4.03)	3 005 (11.02)	1 906 (6.99)	984 (3.57)	△ 10.5	2 892 (10.49)	△ 3.8	1 908 (6.92)	0.1
博多区	682 (3.59)	2 077 (10.93)	1 395 (7.34)	840 (4.33)	23.2	2 185 (11.27)	5.2	1 345 (6.93)	△ 3.6
中央区	436 (2.69)	1 477 (9.11)	1 041 (6.42)	523 (3.21)	20.0	1 523 (9.35)	3.1	1 000 (6.14)	△ 3.9
南区	683 (2.82)	2 401 (9.91)	1 718 (7.09)	785 (3.23)	14.9	2 406 (9.89)	0.2	1 621 (6.66)	△ 5.6
城南区	289 (2.38)	1 098 (9.06)	809 (6.67)	287 (2.37)	△ 0.7	1 097 (9.06)	△ 0.1	810 (6.69)	0.1
早良区	588 (2.81)	2 019 (9.65)	1 431 (6.84)	779 (3.72)	32.5	2 143 (10.23)	6.1	1 364 (6.51)	△ 4.7
西区	546 (2.95)	1 900 (10.27)	1 354 (7.32)	668 (3.56)	22.3	1 961 (10.45)	3.2	1 293 (6.89)	△ 4.5

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの自然増加数、出生数、死亡数。

(2) 社会動態（市外移動）

5,067人の転入超過

平成21年の社会動態（市外との転出入の数）は、転入者数72,862人、転入率（人口1,000人当たりの転入者数）52.27‰、転出者数67,795人、転出率（同転出者数）48.63‰で、社会増加数は両者の差5,067人、社会増加率（同社会増加数）は3.63‰となっています。

平成20年と比較すると、転入者数は1,563人減少、転出者数は1,583人減少と、共に減少しました。

なお、社会増（転入者数が転出者数を上回る）の状態は平成8年以降続いています。

行政区別に見ると、転入者、転出者共に最も多いのは博多区で、次いで東区となっています。また、南区では転出者数が転入者数を上回り、社会動態は309人の減少となっています。

転入率、転出率を見ると、博多区と中

央区の数値が高く、都心部の住民の移動が活発であることを示しています。

各区の人口増加の内訳を見ますと、博多区、中央区など都心部では社会増加数の割合が高く、周辺の区では自然増加数の割合が高くなっていますが、福岡市全体では社会増加数が自然増加数を上回っています。

図5 人口動態の構成

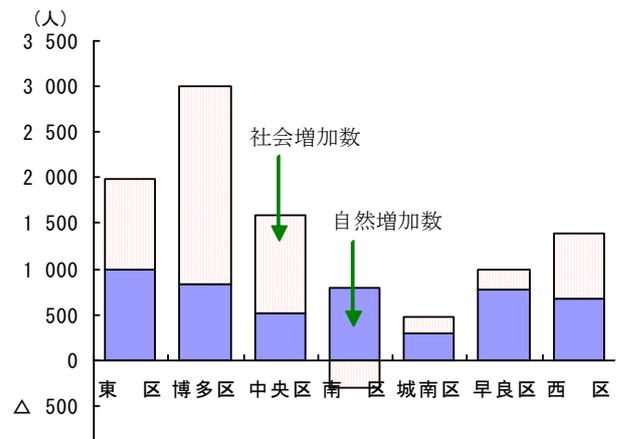


表9 社会動態（市外移動）

市・区	平成20年			平成21年					
	社会増加数	転入者数	転出者数	社会増加数	増加率	転入者数	増加率	転出者数	増加率
	人, ‰	人, ‰	人, ‰	人, ‰	%	人, ‰	%	人, ‰	%
福岡市	5 047 (3.65)	74 425 (53.83)	69 378 (50.18)	5 067 (3.63)	0.4	72 862 (52.27)	△ 2.1	67 795 (48.63)	△ 2.3
東区	818 (3.00)	13 875 (50.87)	13 057 (47.88)	1 008 (3.66)	23.2	13 606 (49.36)	△ 1.9	12 598 (45.70)	△ 3.5
博多区	2 545 (13.39)	15 400 (81.04)	12 855 (67.65)	2 163 (11.15)	△ 15.0	14 999 (77.33)	△ 2.6	12 836 (66.18)	△ 0.1
中央区	1 470 (9.07)	12 122 (74.80)	10 652 (65.73)	1 071 (6.57)	△ 27.1	11 516 (70.70)	△ 5.0	10 445 (64.12)	△ 1.9
南区	△ 591 (△2.44)	10 868 (44.85)	11 459 (47.29)	△ 309 (△1.27)	△ 19.2	11 007 (45.26)	1.3	11 316 (46.53)	△ 1.2
城南区	61 (0.50)	5 299 (43.72)	5 238 (43.21)	193 (1.59)	216.4	5 018 (41.43)	△ 5.3	4 825 (39.83)	△ 7.9
早良区	243 (1.16)	8 982 (42.94)	8 739 (41.78)	222 (1.06)	△ 8.6	8 663 (41.35)	△ 3.6	8 441 (40.29)	△ 3.4
西区	501 (2.71)	7 879 (42.59)	7 378 (39.88)	719 (3.83)	43.5	8 053 (42.91)	2.2	7 334 (39.08)	△ 0.6

注) ()内は、各年9月末現在の人口1,000人当たりの社会増加数、転入者数、転出者数。

3. 人口移動状況（平成21年1～12月）

(1) 福岡都市圏との人口移動

1,100人の転出超過

福岡都市圏との人口移動状況は、転入者は13,061人（対前年増加率△2.6%）、転出者は14,161人（同△0.0%）で、1,100人の転出超過となっています

地域別に見ると、筑紫地域との移動が最も多く、粕屋地域がこれに続きます。

転入・転出者数の差し引きを見ると、

宗像地域は転入超過、筑紫地域、粕屋地域、糸島地域については転出超過となっています。糸島地域については、平成20年の転入超過から転出超過となりました。

(2) 全国地方別人口移動

九州・沖縄地方が最多

全国地方別に人口移動状況を見ると、九州・沖縄地方との転出入が最も多く、

表10 福岡都市圏との人口移動状況

地域	転入者数				転出者数				転入超過数 (△は転出超過数)	
	平成20年	平成21年	構成比	増加率	平成20年	平成21年	構成比	増加率	平成20年	平成21年
	人	人	%	%	人	人	%	%	人	人
総数	13 410	13 061	100.0	△ 2.6	14 166	14 161	100.0	△ 0.0	△ 756	△ 1 100
筑紫地域	6 154	5 975	45.7	△ 2.9	6 192	6 135	43.3	△ 0.9	△ 38	△ 160
粕屋地域	4 206	4 145	31.7	△ 1.5	5 040	4 906	34.6	△ 2.7	△ 834	△ 761
宗像地域	1 299	1 315	10.1	1.2	1 200	1 253	8.8	4.4	99	62
糸島地域	1 751	1 626	12.4	△ 7.1	1 734	1 867	13.2	7.7	17	△ 241

注) 筑紫地域…筑紫野市, 春日市, 大野城市, 太宰府市, 那珂川町 粕屋地域…古賀市, 宇美町, 篠栗町, 志免町, 須恵町, 新宮町, 久山町, 粕屋町 宗像地域…宗像市, 福津市 糸島地域…前原市, 二丈町, 志摩町

表11 地方別転入・

地方	平成19年			平成20年			転	
	転入	転出	転入超過数 (△は転出超過)	転入	転出	転入超過数 (△は転出超過)	総数	増加率(%)
	総数	77 277	71 363	5 914	74 425	69 378	5 047	72 862
北海道	554	475	79	465	475	△ 10	480	3.2
東北	643	557	86	571	479	92	603	5.6
関東	10 761	14 796	△ 4 035	10 692	14 327	△ 3 635	10 877	1.7
北陸甲信越	609	584	25	537	538	△ 1	630	17.3
東海	2 132	2 783	△ 651	2 250	2 685	△ 435	2 480	10.2
近畿	5 270	5 867	△ 597	5 288	5 749	△ 461	5 392	2.0
中国	4 726	3 647	1 079	4 442	3 685	757	4 098	△ 7.7
四国	1 131	844	287	1 014	814	200	868	△ 14.4
九州・沖縄	50 308	40 525	9 783	48 003	39 327	8 676	46 085	△ 4.0
国外	1 139	1 283	△ 144	1 159	1 298	△ 139	1 349	16.4
住所不明	4	2	2	4	1	3	—	△ 100.0

注1) 東北地方…青森県, 岩手県, 宮城県, 秋田県, 山形県, 福島県 関東地方…茨城県, 福井県, 山梨県, 長野県 東海地方…岐阜県, 静岡県, 愛知県, 三重県 近畿地方…和歌山県, 山口県 四国地方…徳島県, 香川県, 愛媛県, 高知県 九州・沖縄地方…福岡県, 佐賀県, 熊本県, 大分県, 鹿児島県, 沖縄県
注2) 都道府県別の転入・転出者数, 福岡都市圏の市町村別転入・転出者数は97,98ページに掲載

転入者数は46,085人（対前年増加率△4.0%）、転出者は38,691人（同△1.6%）で、7,394人の転入超過となっています。

次に転出入が多い地方は、関東地方で転入者数は10,877人、転出者数は13,937人でこちらは3,060人の転出超過となりました。

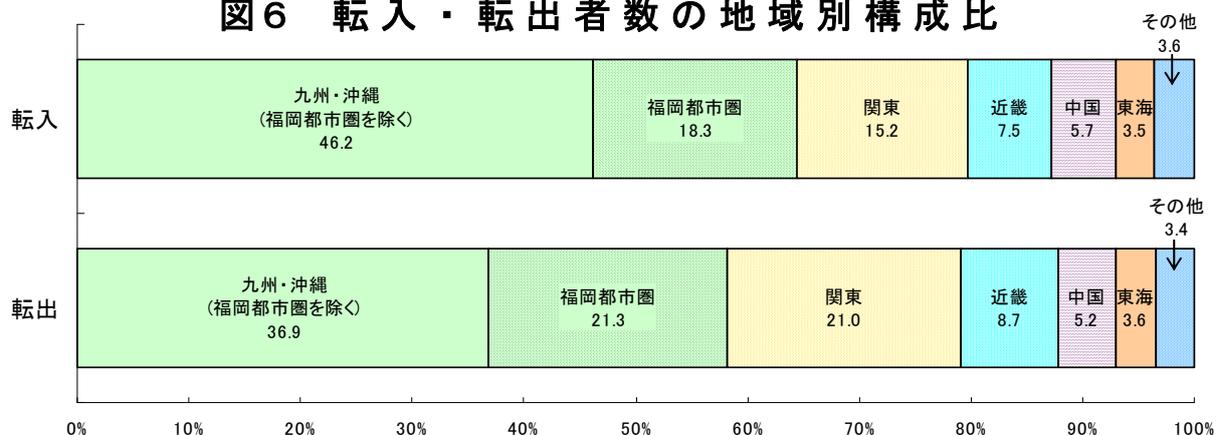
以下、近畿地方が転入者数5,392人、転出者数5,805人で413人の転出超過、中国地方が転入者数4,098人、転出者数3,447

で651人の転入超過となっています。

地域別構成比で見ますと、転入・転出者数ともに約8割が、九州・沖縄地方または関東地方との移動で占められています。

福岡市の人口移動の特徴として、九州・沖縄地方からは流入し、福岡都市圏と関東地方へ流出しているということが言えます。

図6 転入・転出者数の地域別構成比



注) 国外、不明を除く

転出者数

(単位：人)

平成21年								
入		転出				転入超過数 (△は転出超過数)		
男	女	総数	増加率 (%)	男	女	総数	男	女
38 867	33 995	67 795	△ 2.3	36 961	30 834	5 067	1 906	3 161
276	204	421	△ 11.4	252	169	59	24	35
343	260	433	△ 9.6	262	171	170	81	89
6 427	4 450	13 937	△ 2.7	7 876	6 061	△ 3 060	△ 1 449	△ 1 611
403	227	561	4.3	342	219	69	61	8
1 571	909	2 395	△ 10.8	1 480	915	85	91	△ 6
3 168	2 224	5 805	1.0	3 324	2 481	△ 413	△ 156	△ 257
2 260	1 838	3 447	△ 6.5	1 942	1 505	651	318	333
483	385	828	1.7	463	365	40	20	20
23 385	22 700	38 691	△ 1.6	20 495	18 196	7 394	2 890	4 504
551	798	1 273	△ 1.9	522	751	76	29	47
—	—	4	300.0	3	1	△ 4	△ 3	△ 1

栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県 北陸甲信越地方……新潟県、富山県、石川県、
 ……滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県 中国地方……鳥取県、島根県、岡山県、広島
 県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県